

蹴球中毒 中国放浪記

今回は、サッカーが国技でもある中国へ。

成田で、通勤ラッシュ並のチェックインを済ませ、空路 大連空港へ。即、爆睡。

食事タイムの声で起床。しっかりと、機内食を済ませ大連空港へ到着。う～ん、今日は少し埃っぽいかな。ありゃ、日本人が大連空港で写真撮影している！あ～やっぱり何か文句言われている。

大連空港は軍港でもあり、ミグ（大連空港は中国軍も使っている。ミグは旧ソ連の軍用機）が、バンバン待機しているのを、見たはずなのに。さっき機内アナウンスで、空港内の撮影は禁止です。とアナウンスしていた筈だよな～大丈夫かね・・・知らね～ぞお！俺、関係無いし・・・

迎えに来てくれた車に乗車し、市内へ。いつもながらこの国の運転は恐ろしいぞ～！

車線は無視、対面通行だろうが何だろうが、走りたい所を走る。路肩走行、歩道の走行、何でもあり。走行出来れば、OK。何でもあり！しかも、信号が極端に少ないから、歩行者も車を見ないで、平気に車道に出てくる、ゆっくりと歩く。車が来ようが関係無い。ある意味、気合の一発勝負！車同士は、平気で対抗車線を走り、向かって来る車が避けるまで、クラクションの雨嵐・・・へたな、ジェットコースターなんか目じゃない。恐怖心、スリル満点！冷や汗ダラダラ。足を踏ん張って、攣りそう。運転手は笑いながら運転してやがる、しかも後ろを見ながら、中国語で話し掛ける。

冗談じゃないぞ！前を見ろ前を！・・・叫んでも駄目ね、日本語だし。通じないね・・・

ここは歩いている方が、いつ車が飛び込んで来るか解らないと言う、身の危険を感じる所。

しかし、相変わらず、サッカーは盛んだね、この国は。羨ましい限り。

国策で1人子政策をしているので、各家庭には、子供は1人。彼等は総じて欧州クラブのレプリカユニホームを身に纏い、笑顔で歩いている。町の至る所には、ロナウド選手のポスター。

人気は、やはりブラジル代表選手のロナウドと、ロナウジーニョが1番人気だね・・・

以前日本で報道された例のベッカム様（様かね～？）は、ポスターもなけりゃ、何も無い。

ベッカム様人気は、ウソの報道かね・・・この国の市内には、至る所に芝生のグラウンドが使い放題。

子供も大人もボールを蹴っている。ん？今は、普段の日だよね・・・

日本では働き盛りの大人が遊んでいる。彼等は仕事、一体何をしているのだろう？

道路で麻雀卓を囲んでいたり、賭博したり、上半身裸で地面に寝転んだり。ファンタスティック！車に轢かれると言う怖さ、恐ろしさが無いのかね？

通訳さんが曰く、“仕事は無い、働きたく無い、暑いから休みたい”のだそうで、確かに日本での酷暑も中国に来れば回避出来る（中国は乾燥しているので湿気が無く、気温は高いが、気温計程は暑さを感じない。）はずが、今年は違う！蒸し暑い、日本と変わらないじゃないの！汗が流れる。

通訳曰く、“今年は異常な気候ですね”って、冗談じゃないね！日本の様に水道水が飲めない事情で昼間から“青島ビール”を飲まないで、水分補給が出来ない（言い訳ではありません（笑））。

日頃から、子供達に水分補給の重要性を説いているコーチとしては、仕方なく“ビール！”のコール。

支払いの段になって、びっくり！ミネラル・ウオーターの方が、青島ビールより高い！ウソ！って

感じ。いつもながら、この国には驚かされる。店に入って水がすぐ出てくるのは、日本だけ・・・

確かに経済事情が日本と違うので、物価も半端じゃなく安い甘い物とミネラルは高い。

コーラが2本飲める単価が、ミネラル・ウオーター・・・ん？言う程には、高くない？考えて見てよ！

現地の方が昼食で、20元（日本円で、260円）も出したら、相撲取りでも満腹状態のボリューム。こんな事情から、水が25元と言うのは、圧倒的に高い！高すぎる！でしょ？

1ヶ月の平均給料は、高い人でも1200元程度（日本円で15,000円）甘い物、水は贅沢品なのね。だって、500mlのペットボトルを48本買ったから、1ヶ月分の給料が飛ぶのですよ！

信じられる？日本の価値なら1本4,200円/1本って所・・・とんでもない価格！

移動開始！車が異常に増加している。車線変更はウインカー無し、気合と根性の一発勝負！高速流入なんかは、私はまず、駄目ね！本線の車などは目にいれなくて、頭突っ込むからね。通訳曰く“デカイ車が勝つ！！”って、あんた・・・冗談でしょ？（笑）

サッカーの名門クラブ 大連実徳の練習場へ・・・芝はボコボコだわ、めくれているわで、これがプロの練習場？でも強い。まるで、ブラジルの練習場みたい。

さすが、中国、子供がグラウンドでボールを蹴ってもガードマンが文句1つ言わない、連れ出さない。日本じゃ、逮捕だね・・・重慶でアジア選手権が行なわれているが、日本に対するブーイングは大連ではありません。やはり、戦中の悲しい過去がある土地だからかな・・・大連（満州も）酷い歴史観があるはずだろうけどね。

重慶の日本に対するブーイングは、通訳曰く“中田、小野、稲本、久保が来ないのは、アジア大会を日本は軽く見ている。中国国民を舐めている”と言う、風潮らしいです。ケガなのね・・・もちろん、戦中の重慶空爆など歴史的な背景は、大きい理由でしょうが・・・

大連実徳の練習グラウンドは、湾に面した涼しい環境でしたね。

でもね、湾には昔のアジア最大の豪華客船が見学場所として、湾内に停泊させていたのね？練習場の真裏ですよ・・・そのアジア最大の豪華客船が難破して傾いている訳ね？ゴロンって岸壁の棧橋が、メチャメチャに壊れている。この間の嵐で、船が流されて棧橋に突っ込んだそうです。完全にヤバイ傾きをしていて、サルベージ船がワイヤーで支えている訳ね？動かせない状態！ヤバイでしょう？普通なら立ち入り禁止区域に指定されるでしょう？でも、関係無い。何でもあり！淡々と練習して、回りでは子供が遊んでいる・・・凄い勝負掛けた国ですね。

HOTELに入ったら、TVは理解出来ない中国語の放送ばかり、日本のBSは映るけれど、ヤバイ表現はザー・・・と音が聞こえなくなる。それでも、サッカー放送は凄いね、いつでもやっている。夜中まで・・・おかげで、寝不足になりました。

酒の席の話は、ここでは割愛です。目が点になる面白い話が、沢山ありましたよ？

この裏話は、内緒内緒で・・・いずれ、お話しします。

謝謝！再会！